

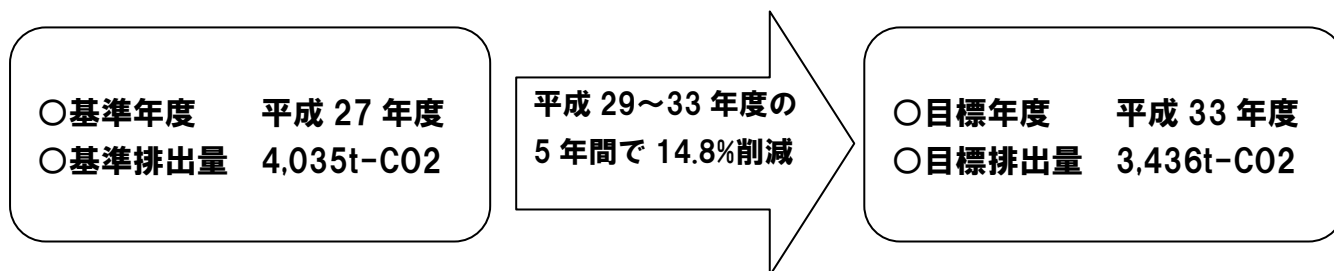
平成 28 年度清瀬市温室効果ガス排出量調査結果について

本市では、平成 28 年度に策定した「清瀬市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）（以下、「実行計画」という。）」に基づき、市の活動の省エネルギー化をはじめとする温室効果ガス削減に取り組んでいるところです。

実行計画では平成 29 年度から平成 33 年度の 5 カ年を計画期間として、平成 27 年度（基準年度）の温室効果ガス排出量に対し、平成 33 年度までに 14.8%削減することを目標として掲げています。

平成 28 年度は計画期間ではありませんが、現状での温室効果ガス排出量削減の進捗状況を把握するため、全庁的な調査を行い、市の温室効果ガス排出量を集計しました。

【実行計画による温室効果ガス削減目標】



1 調査の概要

(1) 調査対象

市の全事務事業（指定管理者制度導入施設を含む）を対象とします。

(2) 調査対象年度

平成 28 年度

(3) 調査対象ガス

ガス種	排出要因
二酸化炭素 (CO2)	電気・燃料の使用
メタン (CH4)	公用車の走行
一酸化二窒素 (N2O)	公用車の走行
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	カーエアコンからの冷媒の漏洩

2 調査結果

(1) 総排出量

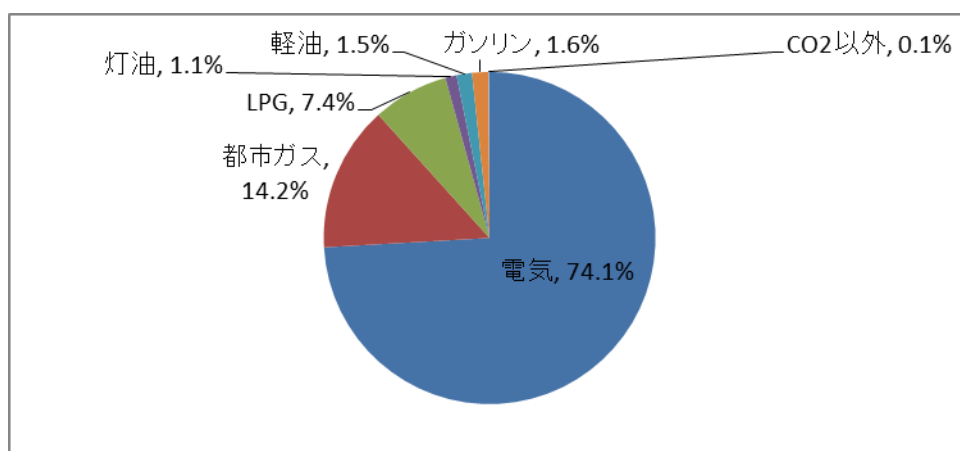
平成 28 年度総排出量 4,027t-CO2

平成 28 年度の排出量調査の集計の結果、総排出量は 4,027t-CO2 となり、平成 27 年度の総排出量 4,035t-CO2 に対しほぼ横ばい（0.2%減）の結果となりました。

(2) 要因別排出量

電気、燃料など排出要因別の排出量では、電気（74.1%）と、都市ガス（14.2%）だけで、排出量全体の 9 割近くを占めます。また、平成 27 年度の結果と比較すると、電気・都市ガスの排出量・構成比共に増加しています。

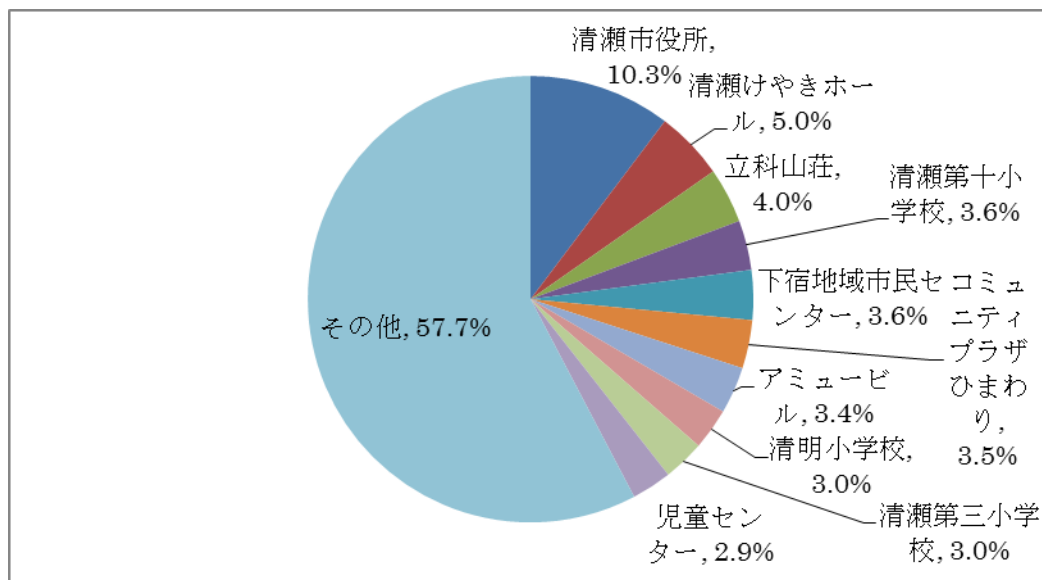
ガス種		平成 28 年度		平成 27 年度	
		排出量 t-CO2	構成比	排出量 t-CO2	構成比
CO2	電気	2984.28	74.1%	2901.79	71.9%
	都市ガス	572.33	14.2%	488.56	12.1%
	LPG	298.42	7.4%	346.10	8.6%
	灯油	44.35	1.1%	178.36	4.4%
	軽油	59.06	1.5%	60.04	1.5%
	ガソリン	65.44	1.6%	57.34	1.4%
CO2 以外	CH4	0.13	0.1%	0.09	0.1%
	N2O	2.74		1.92	
	HFCs	1.15		1.06	
合計		4027.90	100.0%	4035.26	100.0%



(3) 施設別温室効果ガス排出状況

施設別の排出量では、清瀬市役所が全体の1割(10.3%)を占めています。温室効果ガス排出量の多くが電気由来のものであることから、施設の規模がそのまま排出量に反映されています。

施設名	排出量 kg-CO2	構成比
清瀬市役所	417,522	10.3%
清瀬けやきホール	199,592	5.0%
立科山荘	162,204	4.0%
清瀬第十小学校	146,445	3.6%
下宿地域市民センター	144,801	3.6%
コミュニティプラザひまわり	142,770	3.5%
アミュービル	135,996	3.4%
清明小学校	120,360	3.0%
清瀬第三小学校	119,151	3.0%
児童センター	114,655	2.9%
その他	2,324,444	57.7%
合計	4,027,939	100.0%



3 今後の課題

今回の結果では、総排出量は平成27年度と比較してほぼ横ばいとなっていますが、排出量の9割を占める電気・都市ガスによる排出量と、全体に占める割合は、増加しています。実行計画の目標である5年間で14.8%の排出量削減を実現には、この部分の継

続的な削減なしでは不可能であることから、実行計画に掲げられた省エネ化への取り組みを、全庁的に周知・徹底させていくことが、今後の大きな課題となるといえます。